

# BE THE PLAYER CHANGER

自分で考え

動く 生み出す

そして社会を変える

加賀市 学校教育ビジョン

# 加賀市の教育が大きく変わります

自分で考え  
動く 生み出す  
そして  
社会を変える

子どもの「今」も「未来」も幸せに  
well-beingを実現する学びの改革

## 未来は自分で創る

PROJECT  
03

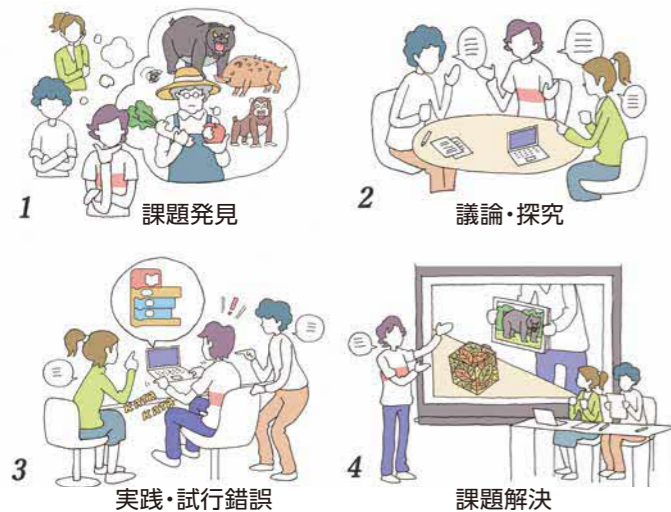
- # 探究
- # STEAM
- # プログラミング
- # デジタルシチズンシップ

多様な人たちと意見を交わし、企業、地域、大学など様々なバックグラウンドを持つ大人たちと一緒に学び、実社会・ホンモノに触れ、探究する。問いを立て、課題解決をする学びを進めます。

### 小中一貫型

### 加賀STEAM教育プログラムの実施

加賀市の強みであるプログラミングを生かして、小中9年間一貫型のSTEAM教育プログラムに刷新します。

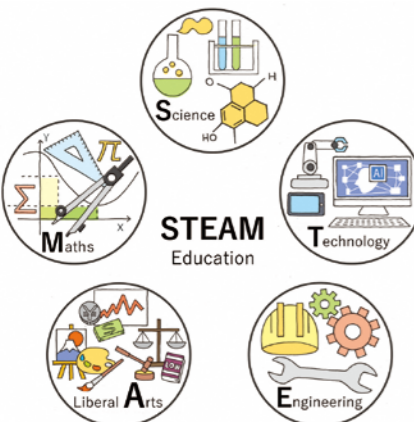


橋立中学校のSTEAM学習のまとめです。  
プレゼンテーションの様子はこちら



### STEAM教育とは

5つの分野の頭文字をとった造語です。単に理数やテクノロジーの学びだけでなく、分野の枠にとらわれず、創造性や発想力を組み合わせて、課題解決に挑んでいく探究型の学習です。AIやテクノロジーの進展を見据えた新しい教育として、注目されています。



## 学びを変える

PROJECT  
01

- # ICT
- # 個別最適な学び
- # 協働的な学び
- # 空間デザイン
- # 遠隔協働
- # インクルーシブ

教師による一方向の一斉授業スタイルは、異なる一人ひとりに合う学びを届けることには限界があります。一人一台のパソコンをフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。そして沢山の人と対話して、助け合って共に学ぶ。教室の空間デザインも工夫し、好奇心と夢中であふれる、もっと自由にクリエイティブな教室へ。「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと変えていきます。

### 今までは…

[みんな一緒に 同じことを 同じ方法で]



### これからは…

[自分のペースで自分で学ぶ]  
[学び合って、助け合って、共に学ぶ]



## 誰一人取り残さない

PROJECT  
02

- # 不登校
- # サードプレイス
- # 教育支援センター
- # 発達支援

不登校の子どもは年々増加し、10人に1人以上の小中学生が「学校に行けない・行きたくない」という状況です。誰一人取り残さず、学びが届くような不登校支援の新たな仕組みを作ります。また、増加している発達支援が必要な子どもにとって、よりよい教育環境・支援につなげるため、新たに大学や専門機関との連携を始めます。

### 教育総合支援センター 移転・リニューアル

教育総合支援センターを旧三木小学校に移転し、地域の人たちと一緒に学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる場所を作ります。また、不登校支援の拠点として機能強化し、全面リニューアルします。



### 学校内サポート ルームの設置

「教室に行くのがしんどいな」そう思ったとき、教室以外で過ごせる場所、学べる場所を学校内に設置し、早期の支援につなげます。

## 地域と一緒に

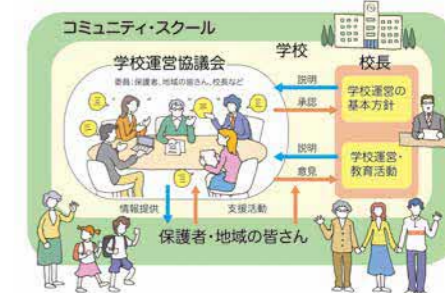
PROJECT  
04

- # コミュニティスクール
- # 部活動地域移行
- # 学校の連絡デジタル化
- # 広報・発信

加賀市の強みである地域の力を生かして、地域と一緒に子どもを育てる環境づくりを進めます。

### コミュニティスクールへ

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に学校や子どもを支えていく仕組みであるコミュニティスクールに全校移行します。



### 中学校部活動の地域移行

2023~2025 年度を「改革推進期間」と位置づけ、早期に地域移行の実現を目指すという国の方針のもと、加賀市でも土日の部活動から段階的に地域移行を進め、地域と一緒に子どもの活動の場を作っていきます。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
準備年度	計画年度	土日の部活を段階的に地域移行	

### 学校・保護者間の連絡手段のデジタル化

学校からの情報発信やアンケートの実施、家庭からの欠席連絡などを迅速・確実に行うため、アプリを導入し、双方の利便性を高めます。



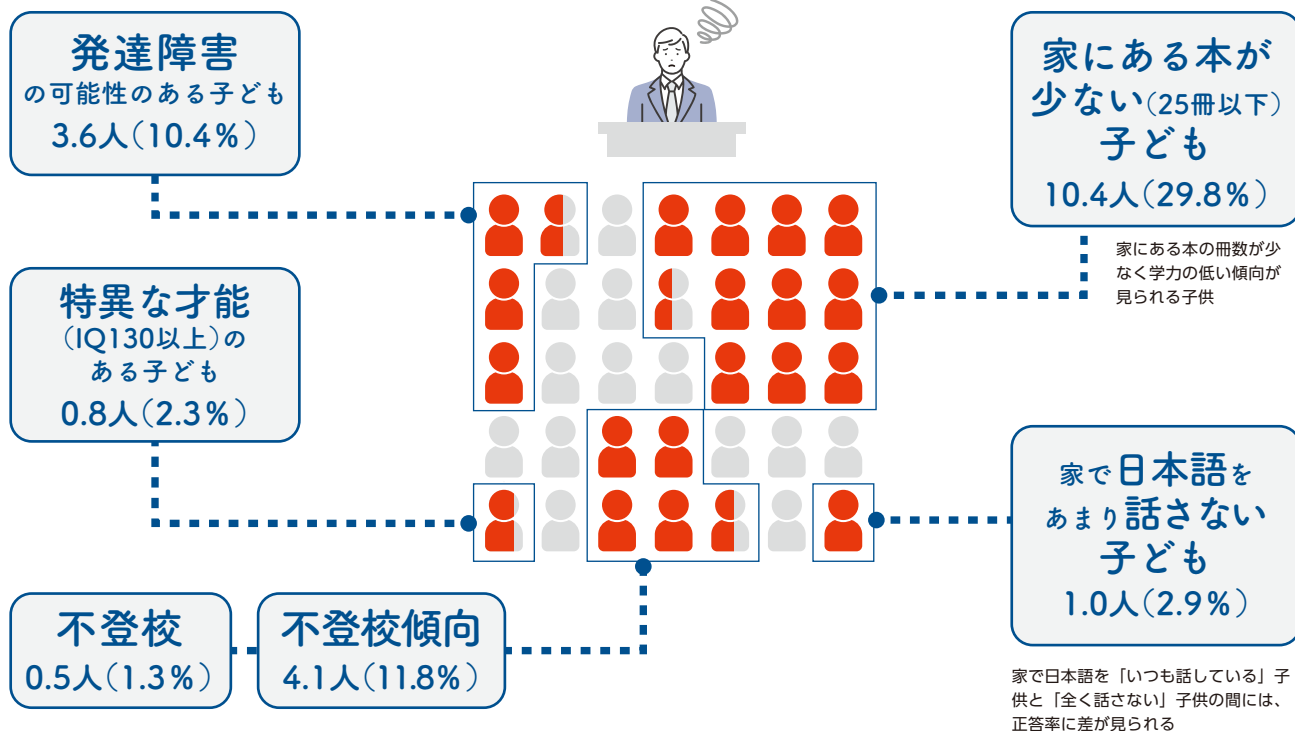
### 保護者・市民向けの教育講演会・広報

新しい教育への理解を進めるため、講演会の実施や SNS 等を通じた情報発信、教育改革の進捗の広報も進めます。

# 教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。

小学校 35人学級の場合  
(全国値)



※内閣府 総合科学技術・イノベーション会議「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」を一部改変

## なぜ今、教育を変えるのか？

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力」  
「問題発見力」「課題解決力」「革新性」  
これからの時代に求められる力です。  
これからは、「人と違うこと」が強みになる時代になります。

旧来型の画一的な教育は、均質な人材育成に寄与し、高度経済成長に大きく貢献した一方で、  
同調圧力を生みやすく、人との違いが目立ち、失敗することを嫌い、  
クリエイティブな発想や個性が発揮しづらい環境を生み出したことも事実です。  
これは次の時代が求める力を生み出す環境とは真逆にある状況です。

そして、子どもは「一人ひとりみんな違う」ということ。  
同じクラスにいても、学びのスピードも、興味関心も、得意不得意も、特性もみんな違います。  
「みんな一緒に」「みんな同じことを」「同じ方法で」の学びは限界に来ています。

凸凹の凹を克服することばかり強いていると、学びの楽しさには出会うことができない。  
自分はこれが好き、これは得意、自分にはこんないいところがある。  
子どもたちが、自分で考え、動き、そして他者と学び合う。  
そうやって、子どもたちが、好奇心いっぱいでもうなれる時間を増やしていきたい。

そろえる教育 から 伸ばす教育へ  
一人ひとり、それぞれの可能性を最大限開花させる教育へ  
そして、子どもの「今」も「未来」も幸せにする。

そんな教育を、加賀市は本気で目指していきます。

加賀市教育委員会

〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二 41 番地 TEL.0761-72-1111(代表)

詳細版はこちら

